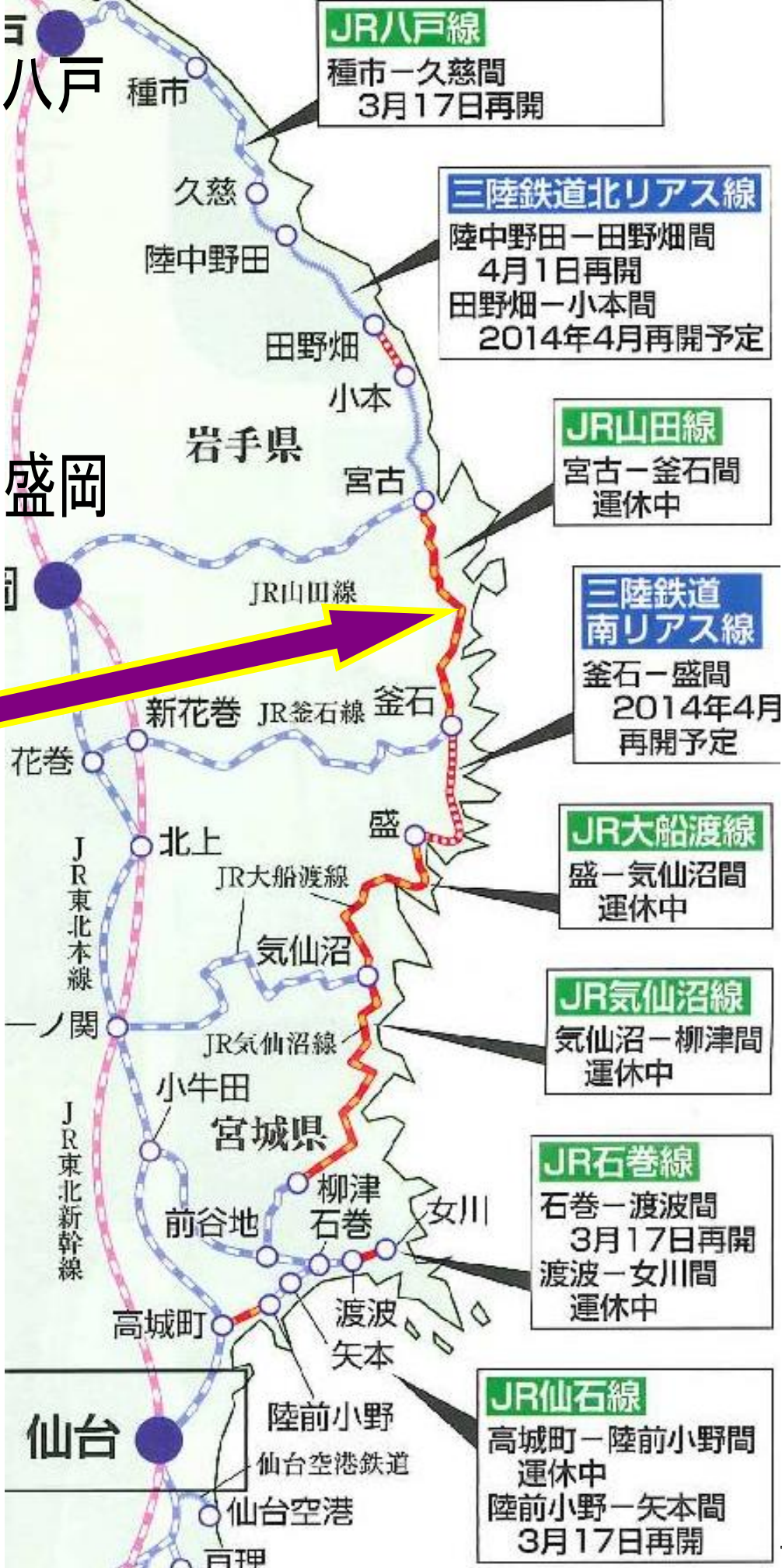


被災沿岸部の鉄道軌道を必ず復旧させよう!



山田線 BRT案取り下げへ

JR東、沿線4市町の意向受け

不通になっている岩手県沿岸部のJR山田線宮古-釜石駅間55.4キロで、JR東日本が仮復旧案として提示しているバス高速輸送システム(BRT)について、沿線4市町は9日、反対の立場を同社に伝えた。同社

7月10日 読売新聞

の山口保幸・復興企画部担当部長は4市町との会議後、報道陣に、案を取り下げる意向を示した。今後、地元自治体が求める早期の鉄道復旧に対し、同社がどう応じるかが注目される。同社は両駅区間のうち、約10キロ区間にバス専用道を整備し、山間部などは並行する国道45号を走行する仮

復旧案を示していた。この日、宮古市で非公開の会合が開かれ、同市、釜石市、山田町、大槌町の4市町は、専用道が不通区間の約2割で、交通渋滞で定時性が確保されないことや、現在運行中の振り替えバスで対応できることなどを指摘し、BRT案に反対した。